

広島県  
商工会地域

# 中小企業景況調査報告書

第176回

令和6年4～6月期 実績

令和6年7～9月期 予測

令和6年6月

広島県商工会連合会

## 中小企業景況調査の概要

1. 調査趣旨 この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体の管内の企業約18,840企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。
- 広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。
2. 調査対象 (対象地区) 県内15商工会  
祇園町、広島東、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、神石高原、三次広域、備北  
(対象企業) 231社  
製造業51 建設業43 小売業69 サービス業68
3. 調査方法 経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間 令和6年4月～6月期実績、及び令和6年7月～9月期見通し
5. 調査時点 令和6年6月1日

6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。
- 各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
- DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運  
DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運
- 例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、 $DI=50-20=30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。

7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
- 「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満  
「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満  
「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上

8. 表記基準 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。

(参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料

- (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)

[https://www.smrj.go.jp/research\\_case/research/survey/index.html](https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html)

- 中国経済産業局 (中国地域の経済動向)

<https://www.chugoku.meti.go.jp/toukei/keiki/keiki.html>

- 広島県 (広島県経済の動向)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/75/1244079054510.html>

## 1.ポイント ※(独)中小企業基盤整備機構「第176回中 小企業景況調査(2024年4-6月期)のポイント」より

### ・中小企業の業況判断DIは、4期ぶりに上昇

全産業の「業況判断DI(前年同期比)」は、前期(2024年1-3月期)から2.6ポイント増(▲15.7)と4期ぶりに上昇。産業別では、小売業で3.4ポイント増(▲25.0)、サービス業で2.9ポイント増(▲8.8)、建設業で2.7ポイント増(▲11.8)、卸売業で2.7ポイント増(▲12.4)、製造業で1.1ポイント増(▲18.8)と全ての産業で上昇。

来期見通しは、全産業で上昇し、産業別では、建設業を除く4産業で上昇の見込み。

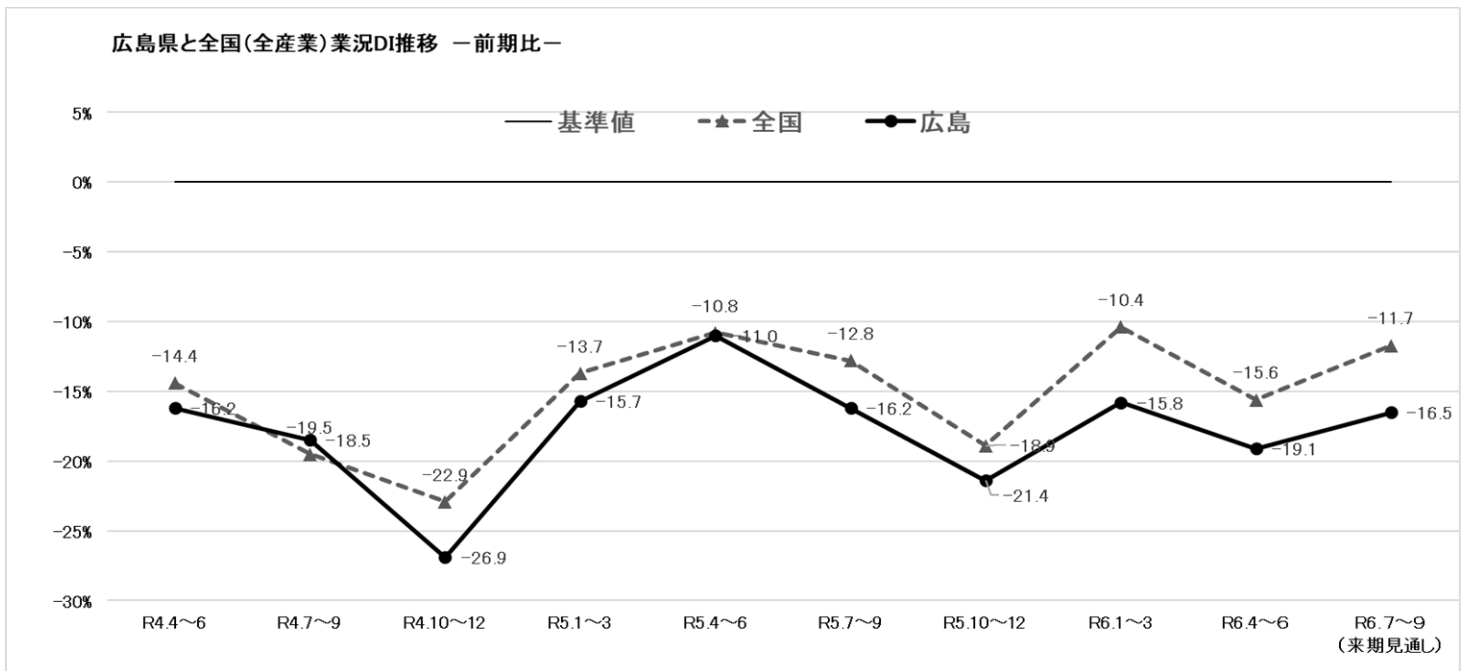
### ・売上単価・客単価DIは、産業別の格差が拡大

「原材料・商品仕入単価DI(前年同期比)」は、産業間の格差は相対的に縮小し、「売上単価・客単価DI(前年同期比)」に比べ高水準が続いており、いずれの産業においても上昇感が強まった。一方、「売上単価・客単価DI(前年度期比)」は小売業のみが▲2.6とマイナス圏となっており、コロナ前に比べて産業間の格差が拡大している。

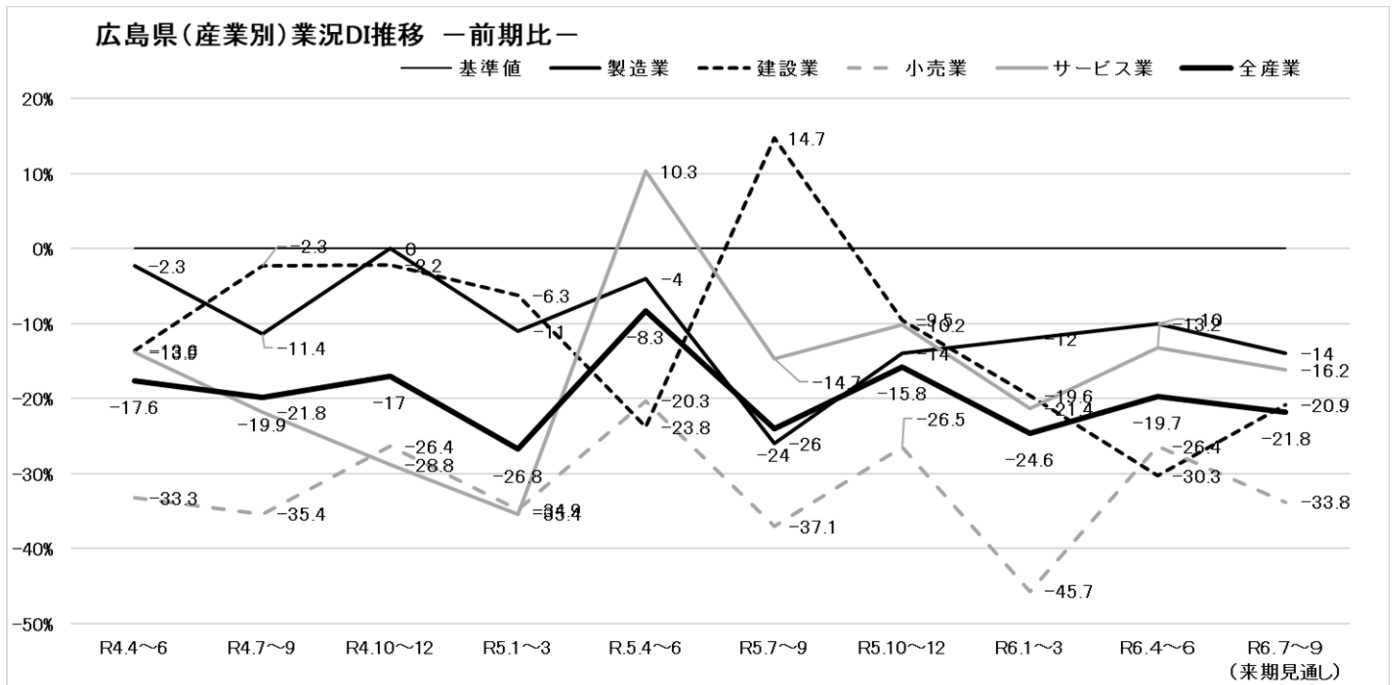
### ・北陸地域の業況判断DIは他地域に比べて上昇

全産業の「業況判断DI(前年同期比)」について、北陸地域では、令和6年能登半島地震の発災後の前期に比べDI値が8.0ポイント増(▲19.1)と上昇したが、全国の水準には至っていない。県別では、石川県が11.0ポイント増(▲24.8)と大きく上昇したが、令和6年度能登半島地震前の水準には至っていない。

2. 広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。



3. 広島県(産業別) ※商工会地域のみ



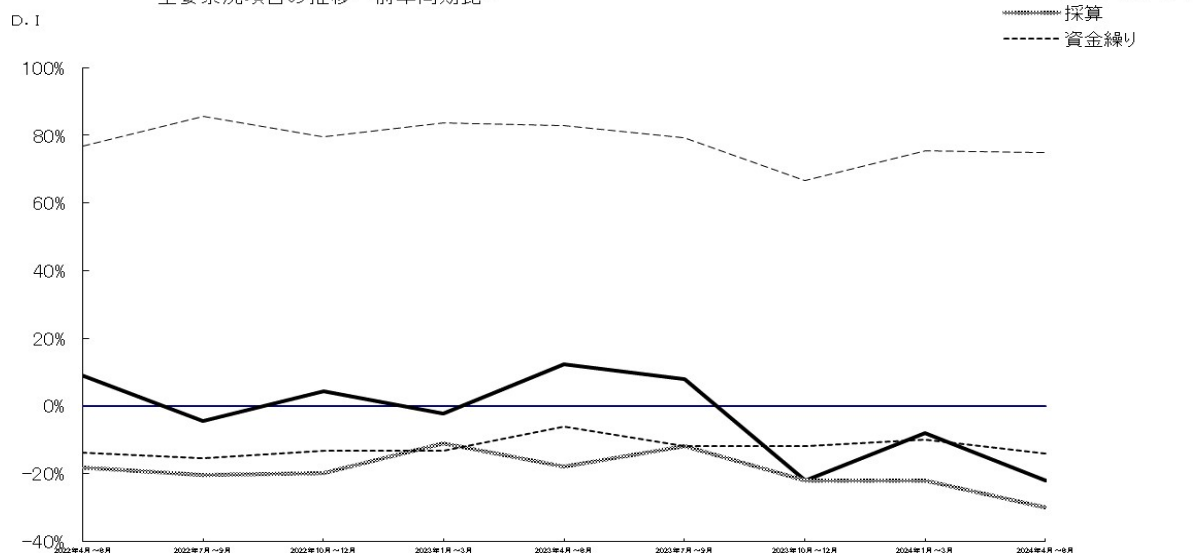
## 製造業（商工会地域）

### 1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	製造業 DI		(来期見通し)	
	(前期) R6.1～3	(今期) R6.4～7	前期との比較	今期との比較
売上額	-8.0	-22.0	↓	-26.0 ↓
原材料仕入単価	75.5	75.0	↓	54.2 ↓
採算	-22.0	-30.0	↓	-18.0 ↑
資金繰り	-10.0	-14.0	↓	-10.0 ↑

#### 広島県 製造業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



#### ..... 企業のコメント .....

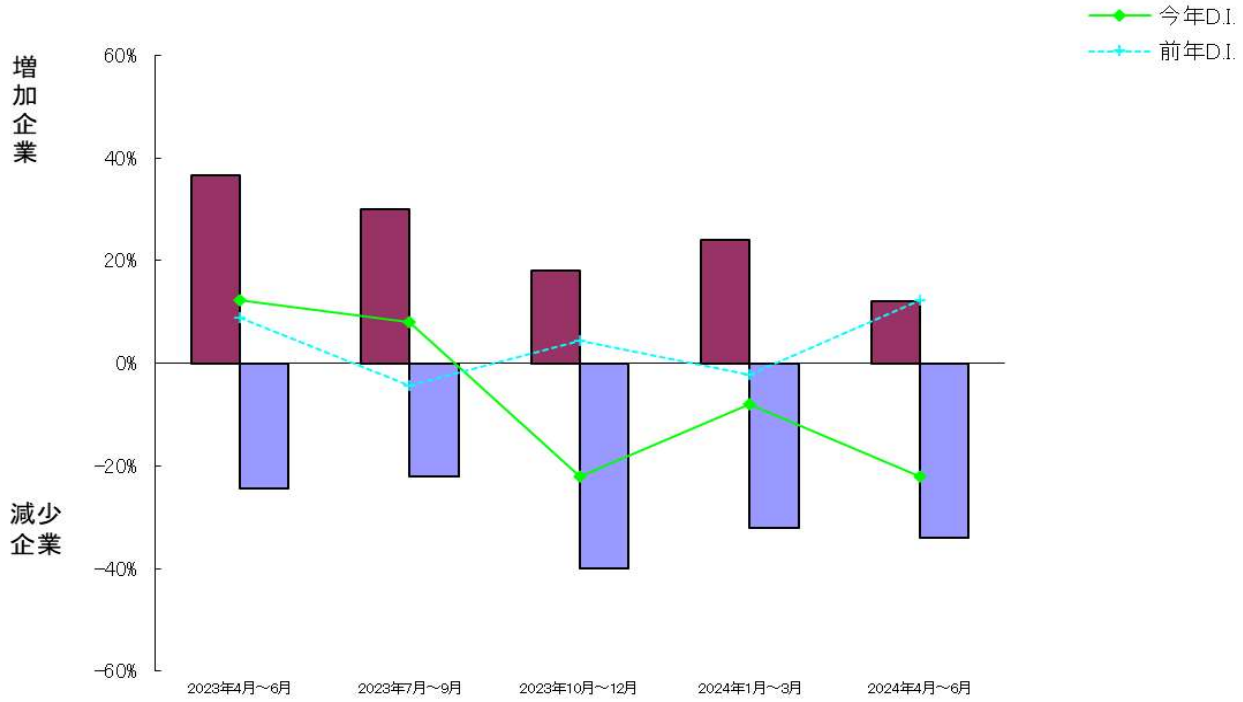
- ・ 業況は回復傾向にあり、受注は好調である。生産量の増加又は価格転嫁により、売上増加に繋げたい。
- ・ 一年前に原材料の値上がりによる製品価格の改定により売上は上がったが、利益の確保のためには労務費や資材など細かく分析して適正な価格を再設定する必要がある。
- ・ 短期で大きな売上があったことで売上の変動が大きい月もあった。手形・借入は特に変化なしのため、これからも横ばい状態が続く見込みです
- ・ 人手が足りないので、仕事の依頼があっても受けることができない。だが、常時雇用するには業況が安定せず厳しい状況である。
- ・ ダイハツ(トヨタ)の不正問題の影響を受けており、自動車メーカーの新車開発が止まっている。この傾向は今後も続くと思われる。(昨年9月から今年いっぱい)
- ・ 今期は始まったばかりですが前期とは違い業務が増えてきている。メーカーの方針が明確になってきているようである。暫くは様子見であるが、このまま継続することを期待したい。

## 製造業（商工会地域）

### 2.売上額(加工額) -前年同期比-

#### 広島県 製造業

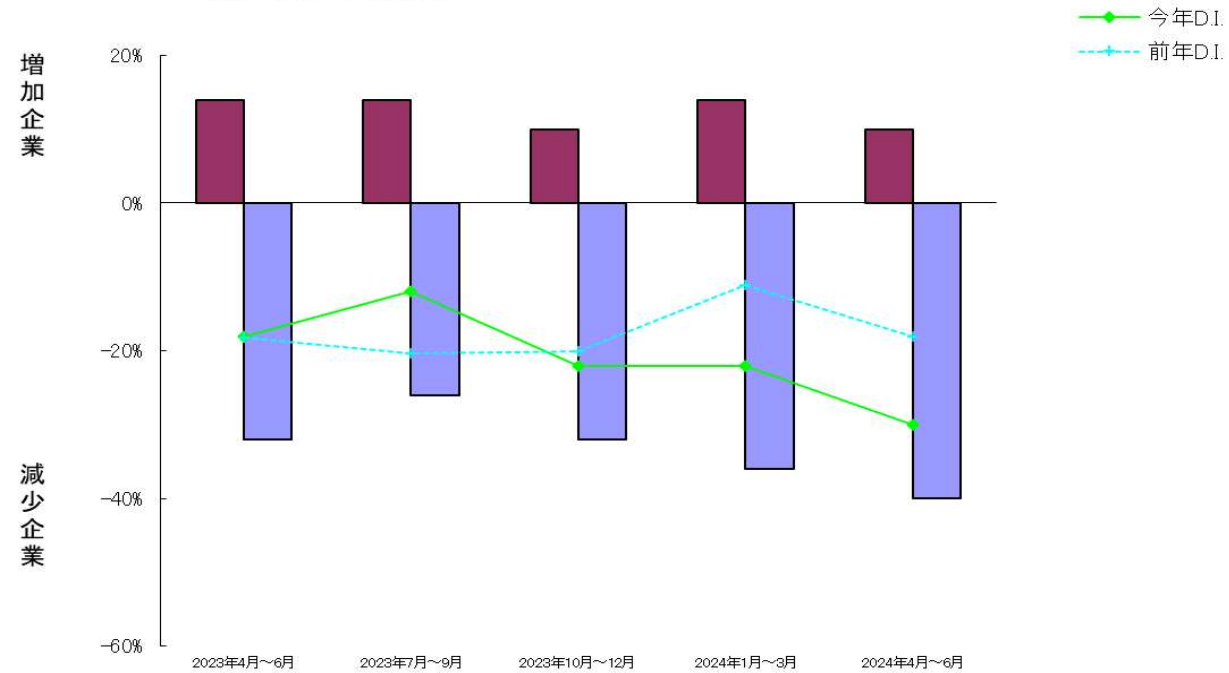
売上額の状況 - 前年同期比 -



### 3.採算(経常利益) -前年同期比-

#### 広島県 製造業

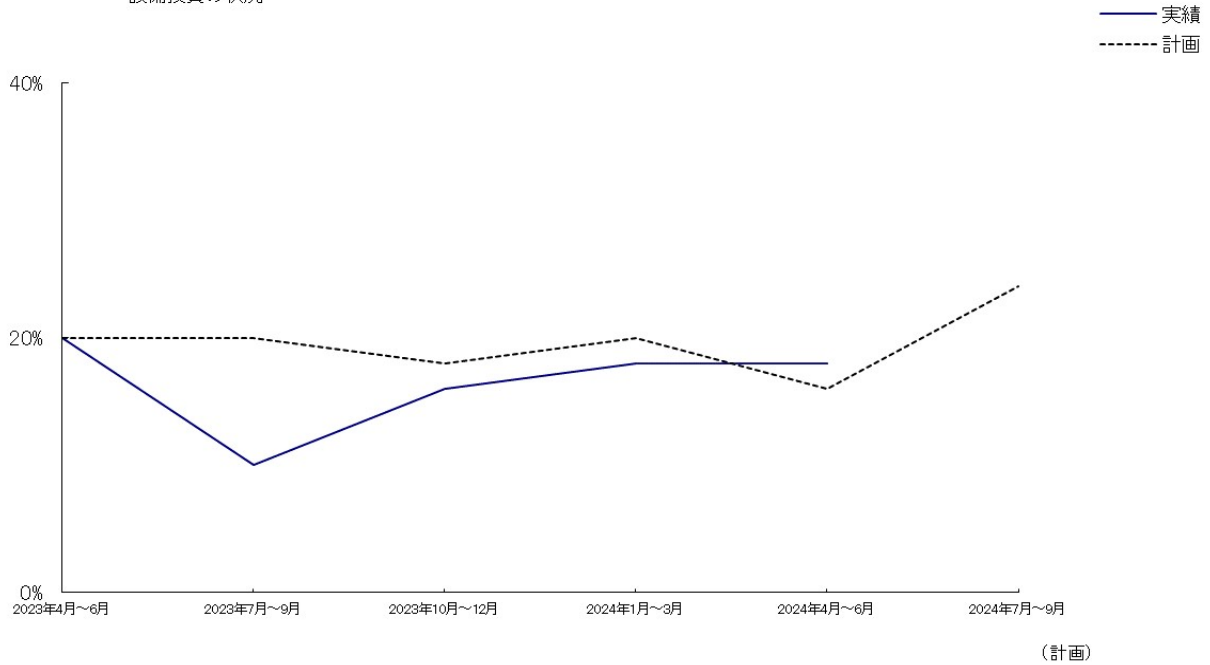
採算の状況 - 前年同期比 -



## 4.設備投資の状況

### 広島県 製造業

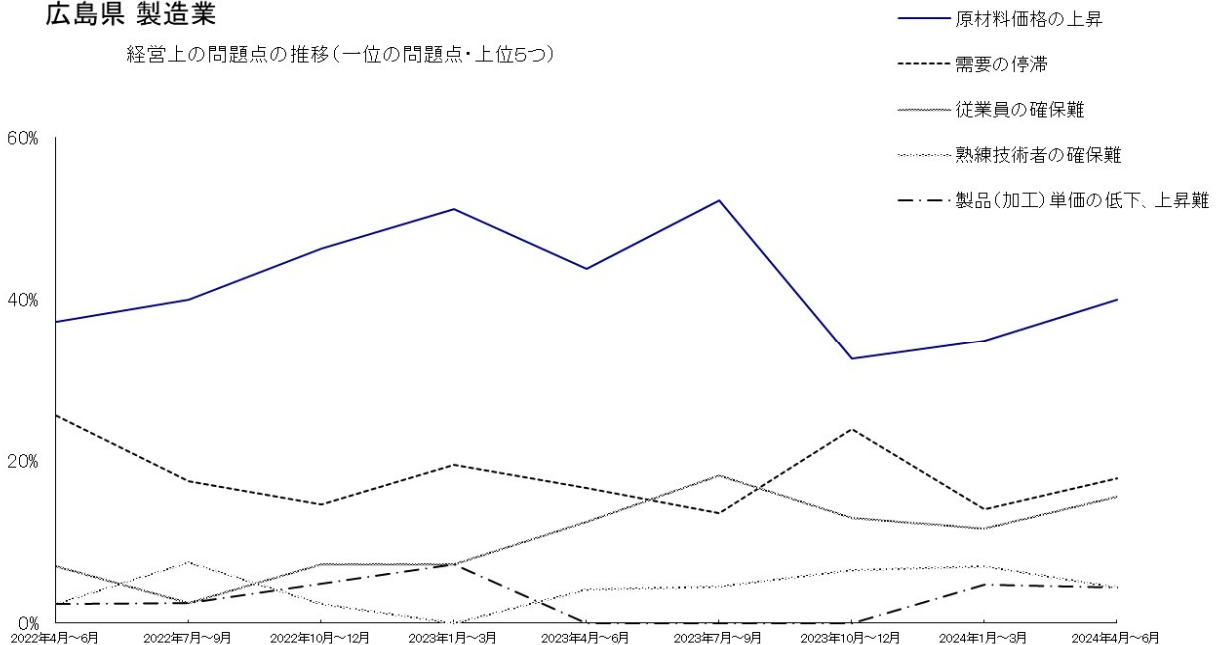
設備投資の状況



## 5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

### 広島県 製造業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



## 建設業（商工会地域）

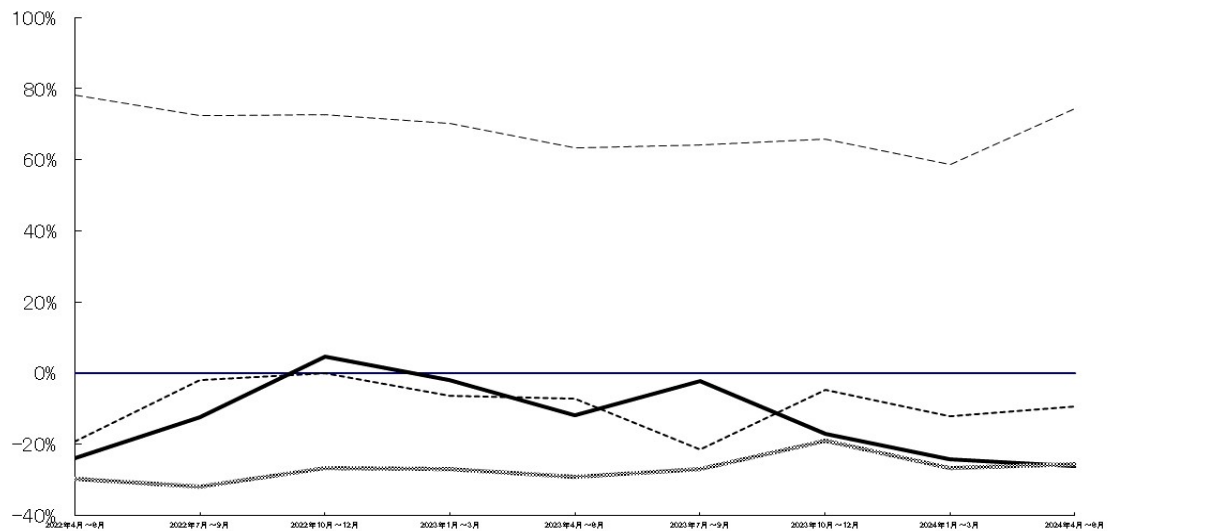
### 1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI 主要項目	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R6.1～3	R6.4～7	前期との比較	R6.7～9	今期との比較	
売上額 （完成工事額）	-24.4	-26.2	↘	-19.1	↗	
材料仕入単価	58.6	74.4	↗	67.4	↘	
採算	-26.8	-25.6	→	-27.9	↘	
資金繰り	-12.2	-9.3	↗	-11.6	↘	

### 広島県 建設業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -

D.1



- ..... 企業のコメント .....
- ・やはり材料費が少しずつ上げられていくのが大問題です。見積もりもそんなに上げられないのが現状です。
  - ・大手企業には景気が上向きだと言っているが、中小企業には全く反映されていない。中小企業に特化した補助金をもっと導入してもらいたい。
  - ・大きな災害復旧工事が終わり、受注工事減少傾向にある。
  - ・円安が続き材料価格の上昇が止まらない。
  - ・受注の方は、少しずつ安定して上向きになってきました。
  - ・公共工事の割合が大きく、売上高は順調に伸びているように見えるが、今後はその工事も終わり民間工事を主軸にして運営していくことになる。しかし、物価上昇の影響は大きくどこまで受注していけるか不安要素はない。

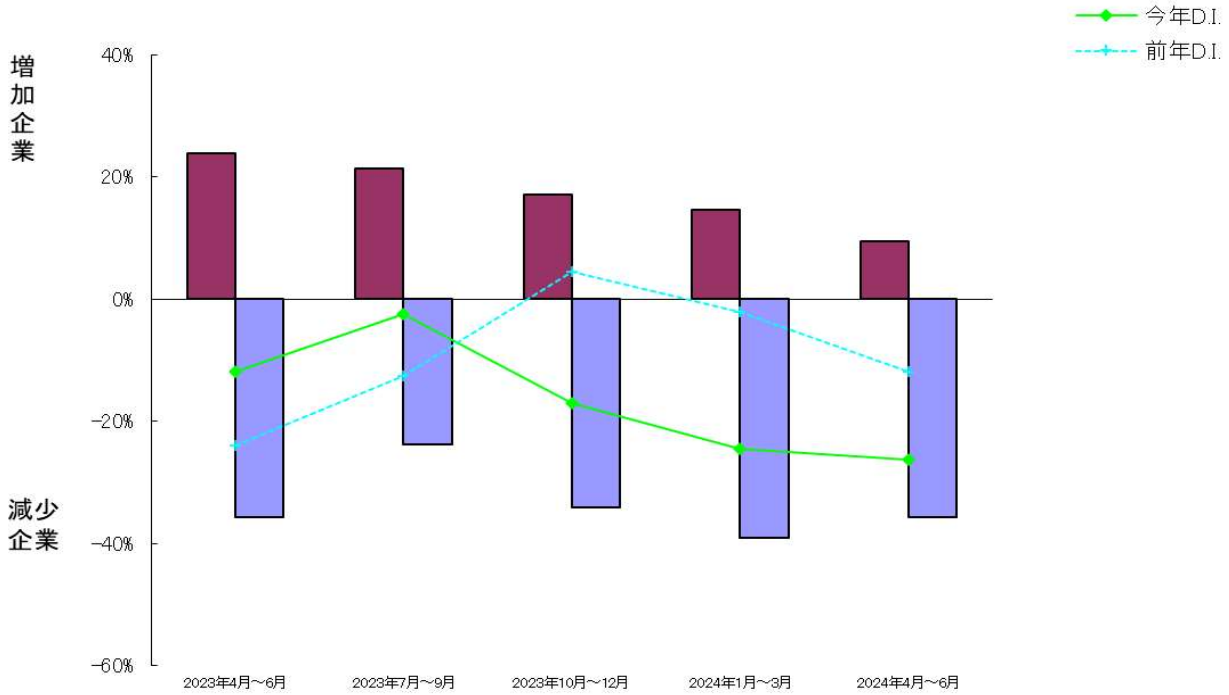


建設業（商工会地域）

2.売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島県 建設業

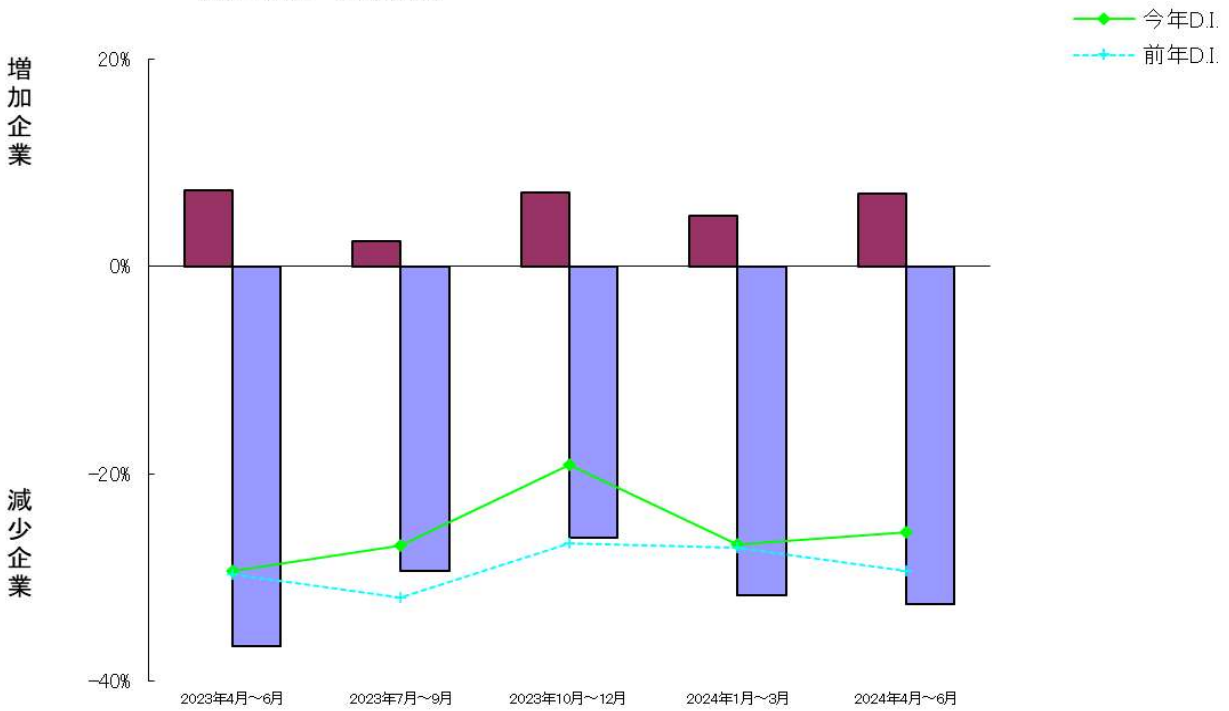
完成工事額の状況-前年同期比-



3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島県 建設業

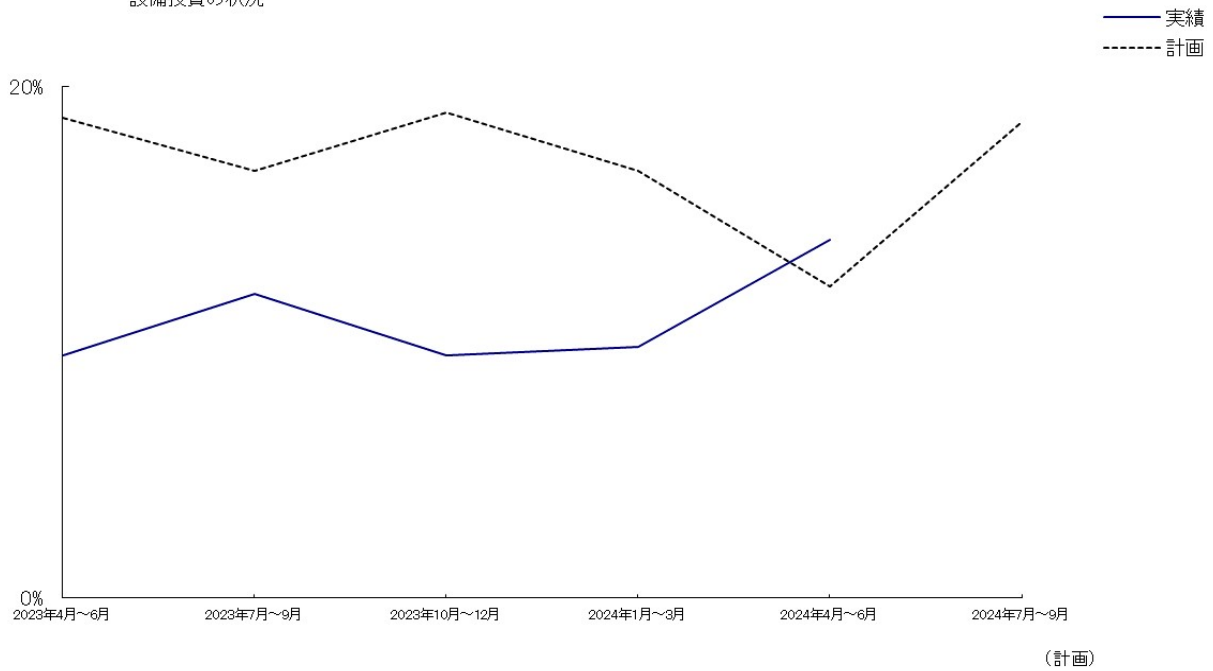
採算の状況-前年同期比-



## 4.設備投資の状況

広島県 建設業

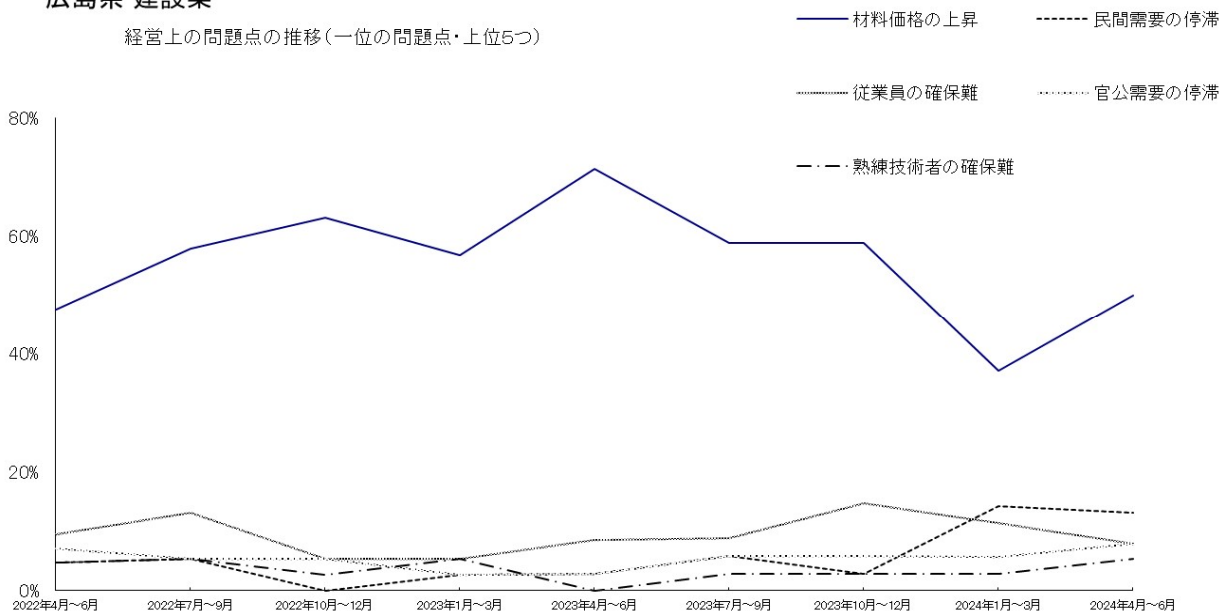
設備投資の状況



## 5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 建設業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



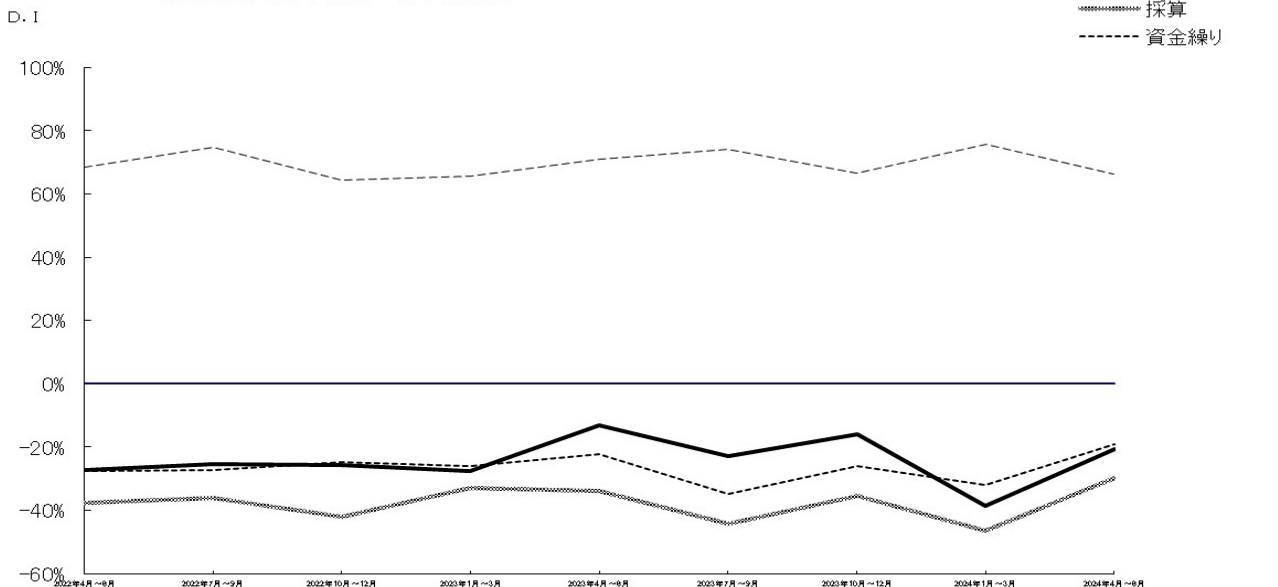
## 小売業（商工会地域）

### 1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI 主要項目	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R6.1～3	R6.4～7	前期との比較	R6.7～9	今期との比較	
売上額	-38.5	-20.6	↗	-32.3	↘	
商品仕入単価	75.7	66.2	↘	64.7	↘	
採算	-46.4	-29.8	↗	-34.3	↘	
資金繰り	-31.9	-19.1	↗	-27.9	↘	

### 広島県 小売業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



### ..... 企業のコメント .....

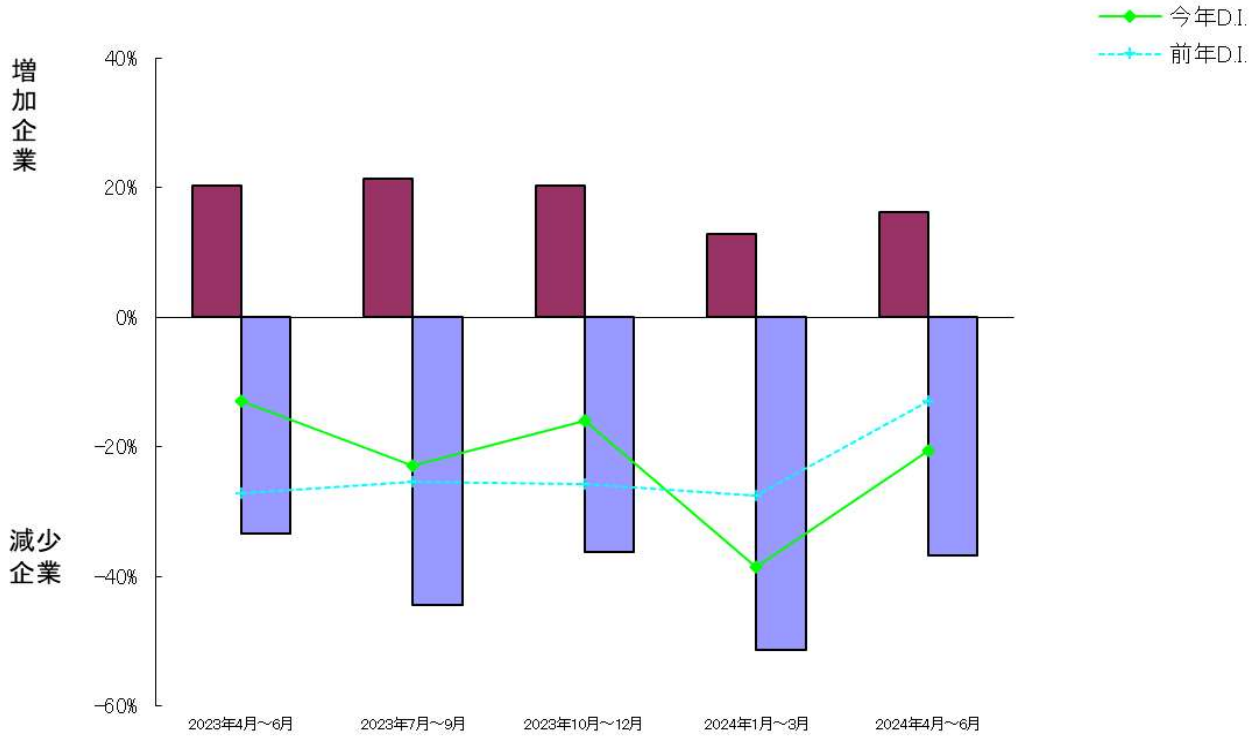
- 依然として、原油価格の高止まりや、材料費の値上がりが続いている。また、需要の停滞もあり、厳しい状況にある。エネルギー事情の変化への対応も必要である。
- 今年に入り、来客数減少が際立っており、店頭売上減少が全体の業績を押し下げている。
- 相次ぐ物価高の影響で、一般消費者の消費が落ち込んでいる。量販店への客の流出が多いのではと感じている。仕入単価上昇による販売価格の高騰も影響している。
- 今現在、需要が停滞していると感じている。また、人件費を含めた経費が経営の足を引っ張っている。今後の見通しとしては、今在籍している従業員の人材育成を行い効率化を図り収支の改善を図っていききたい。
- 地域顧客の高齢化が進むにつれ、徐々に客数は減少傾向。年金生活者や中小規模企業勤労者所得の伸び悩み、物価高で食品以外の消費節約が続く予感。今後、小規模事業経営は悪化し、コロナ融資の返済負担も重くなる。
- 人が動き出して同時に物も動き出した。ただ仕入商品の値上げに店側もお客もついていけない。整理整頓をきっちりして、時間と無駄の洗い出しをして、コストカットによる業況の回復をする。

小売業（商工会地域）

2.売上額 -前年同期比-

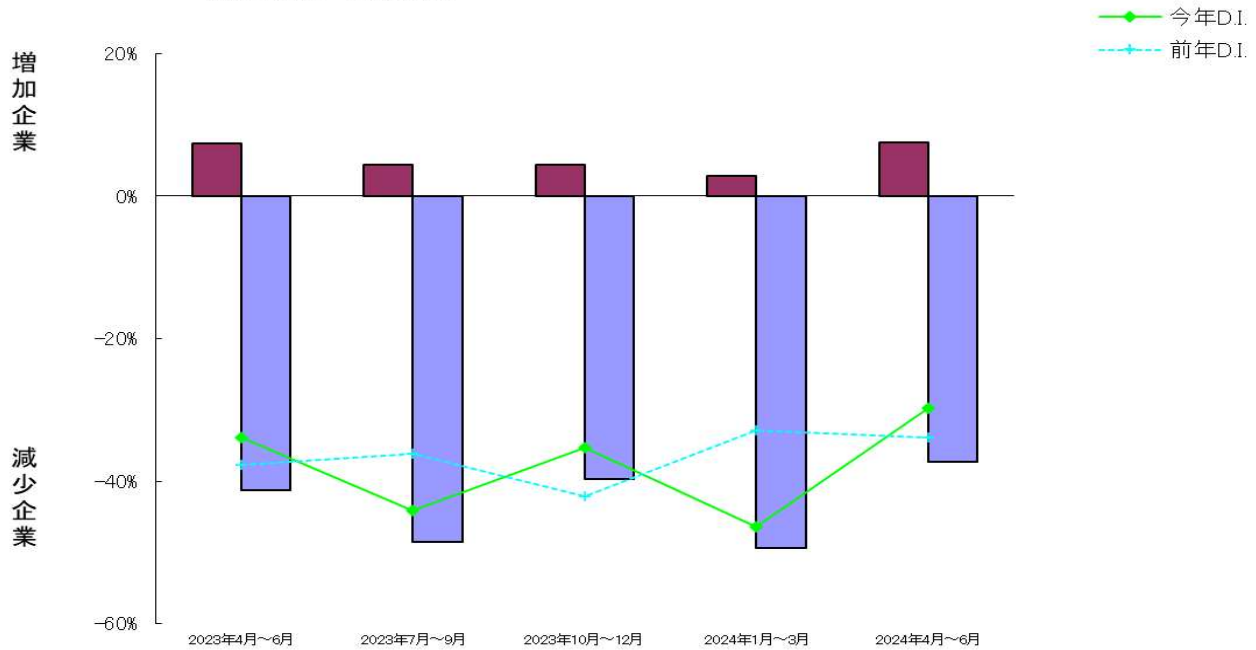
広島県 小売業

売上額の状況 - 前年同期比 -



広島県 小売業

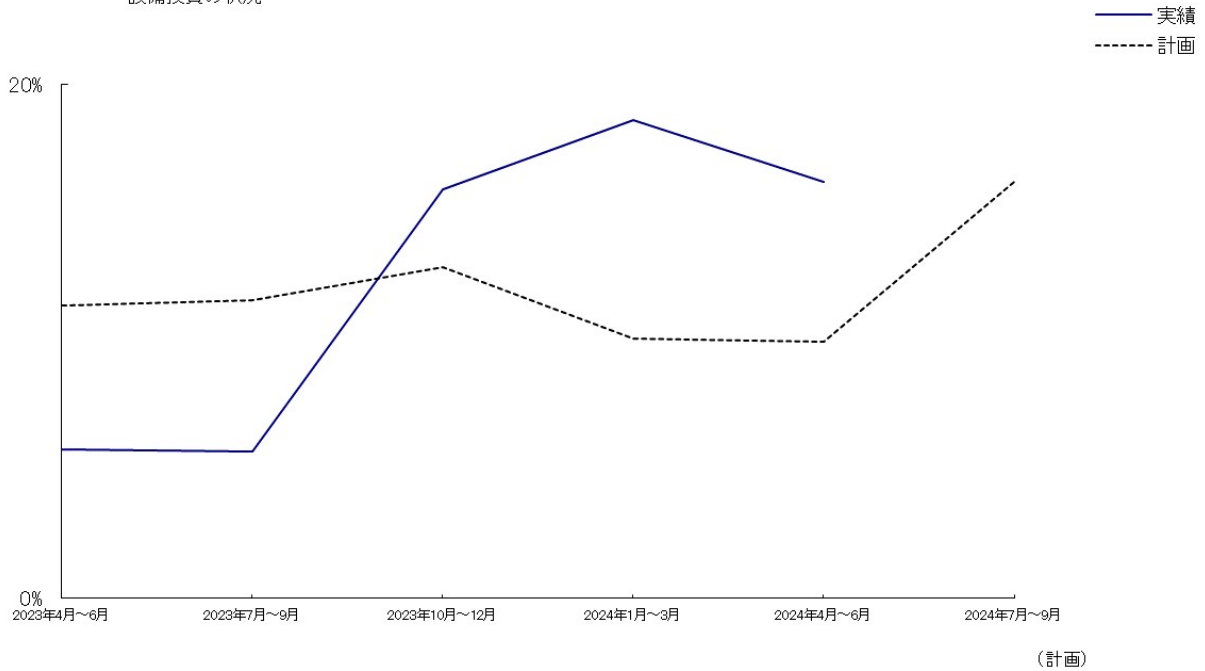
採算の状況 - 前年同期比 -



4.設備投資の状況

広島県 小売業

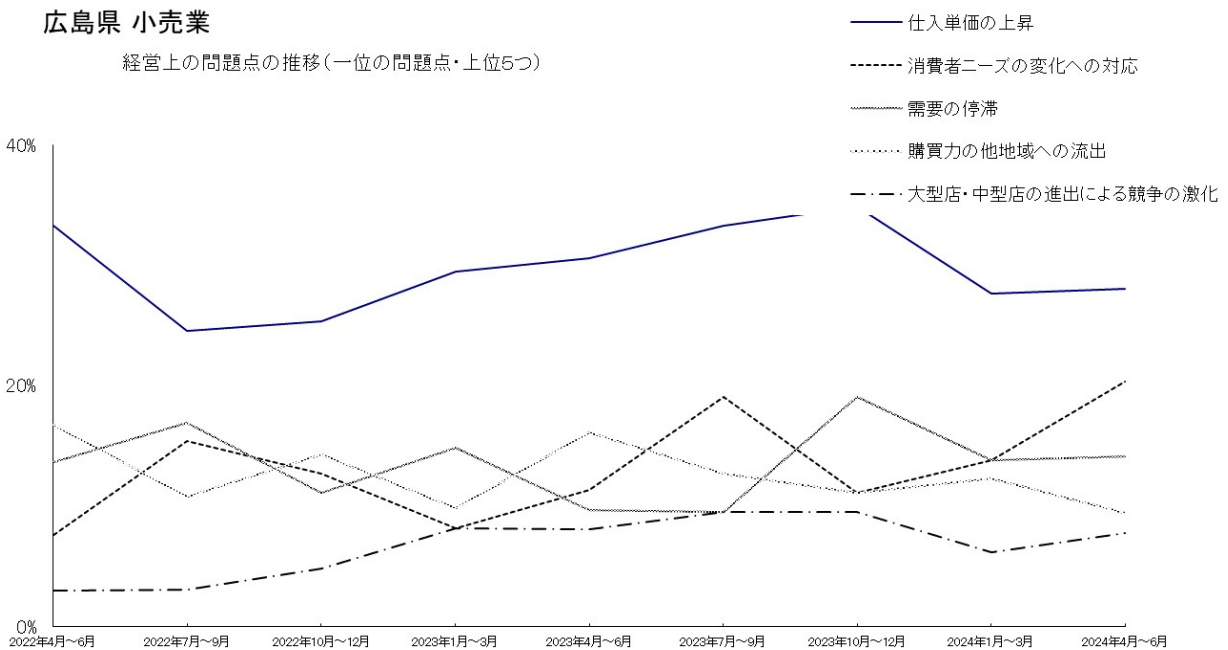
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 小売業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



サービス業（商工会地域）

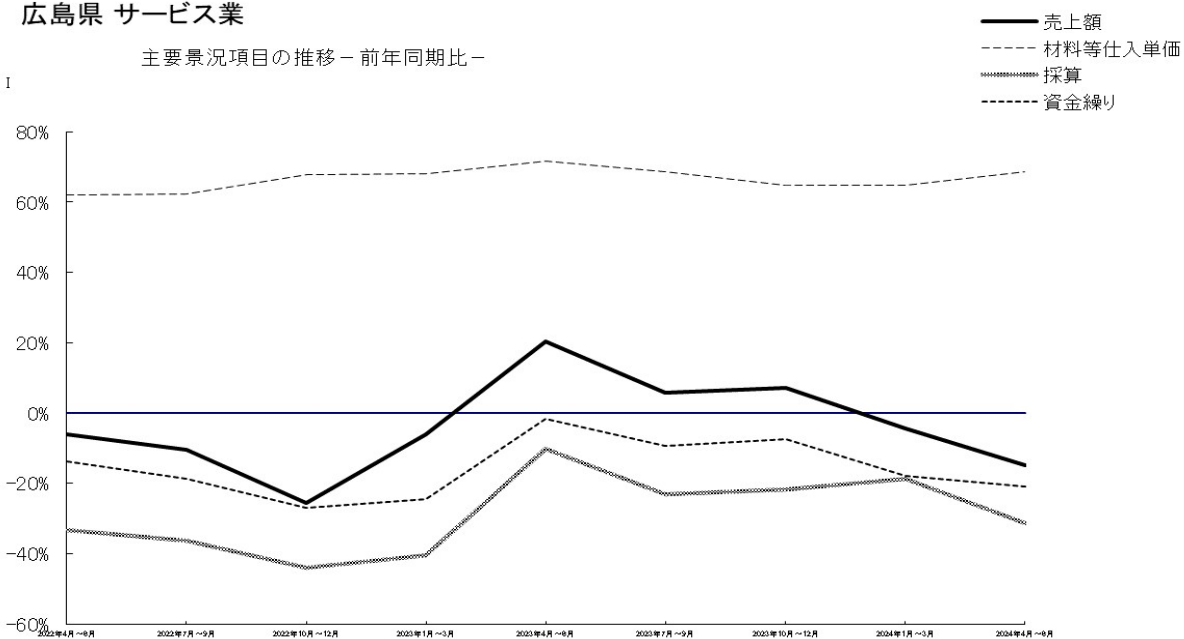
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	サービス業 DI		（来期見通し）	
	（前期） R6.1～3	（今期） R6.4～7	前期との比較	今期との比較
売上額	-4.3	-14.7	↘	↗
材料等仕入単価	64.7	68.6	↗	↘
採算	-18.6	-31.3	↘	↗
資金繰り	-17.9	-20.9	↘	→

広島県 サービス業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -

D.1

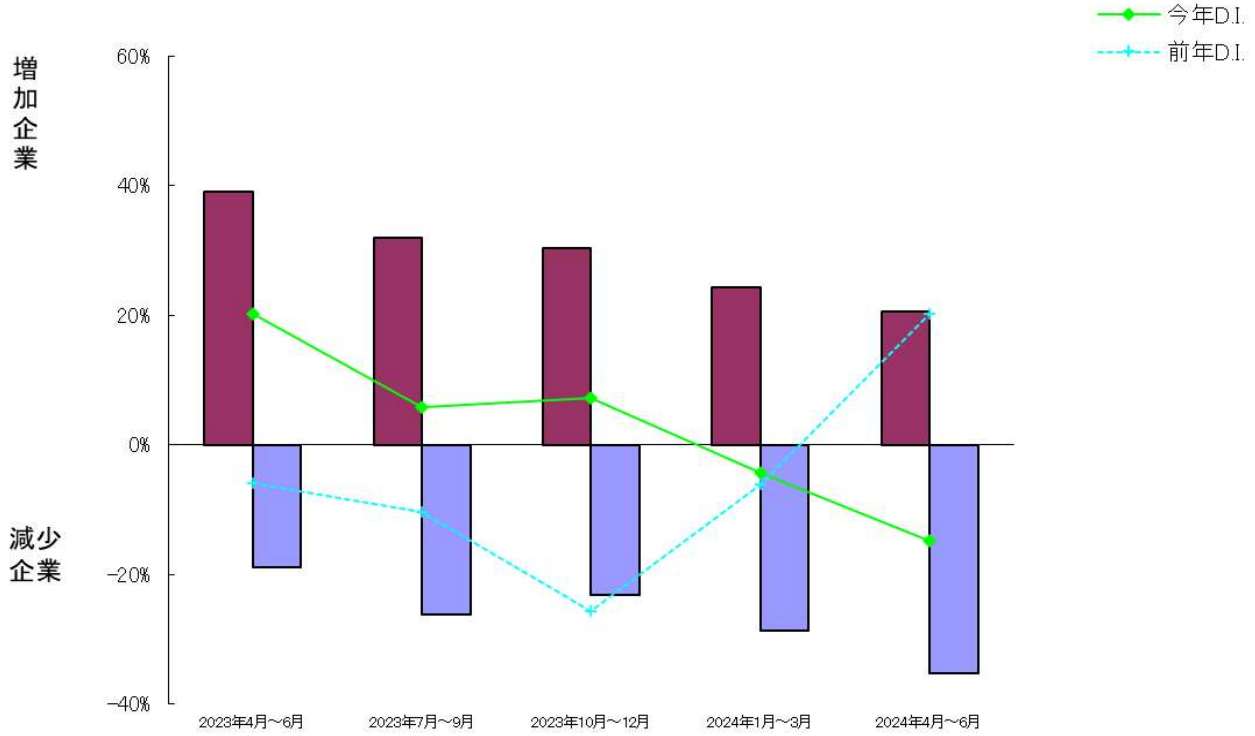


- ..... 企業のコメント .....
- ・ 施設・設備老朽化が顕著であり、対応が必要。すべての経費が増加しており、対応苦慮。
  - ・ 燃料価格等の高騰により経費が増加しているが価格転嫁が出来ておらず利益確保が難しくなっている。
  - ・ 度重なる値上げを実施したが、追いついていない。また1,000円の壁が見えてきている状況で値上げに限界がきている。
  - ・ 2024年問題を背景に取引先に打診をしているが、受入は厳しい。
  - ・ 円安によるインバウンドが増える期待もあるが、中山間にはまだその影響はない。燃料費も高値のままで今は利益アップとまではいかない。4月から労働時間も減少しているので、人員が少ない上に仕事量も減ってしまう。
  - ・ 利用者も徐々には回復してきているがまだまだ利益にはつながらない。仕入が高い。
  - ・ 前年前期より動いている気はするのだが収入がわずかだが下回っているのが残念。客数は少ないのだが思ったより売上が少くないのは、訪問美容や送迎を行うので、売上が減少を食い止めているのかもしれない。

2.売上額(加工額) -前年同期比-

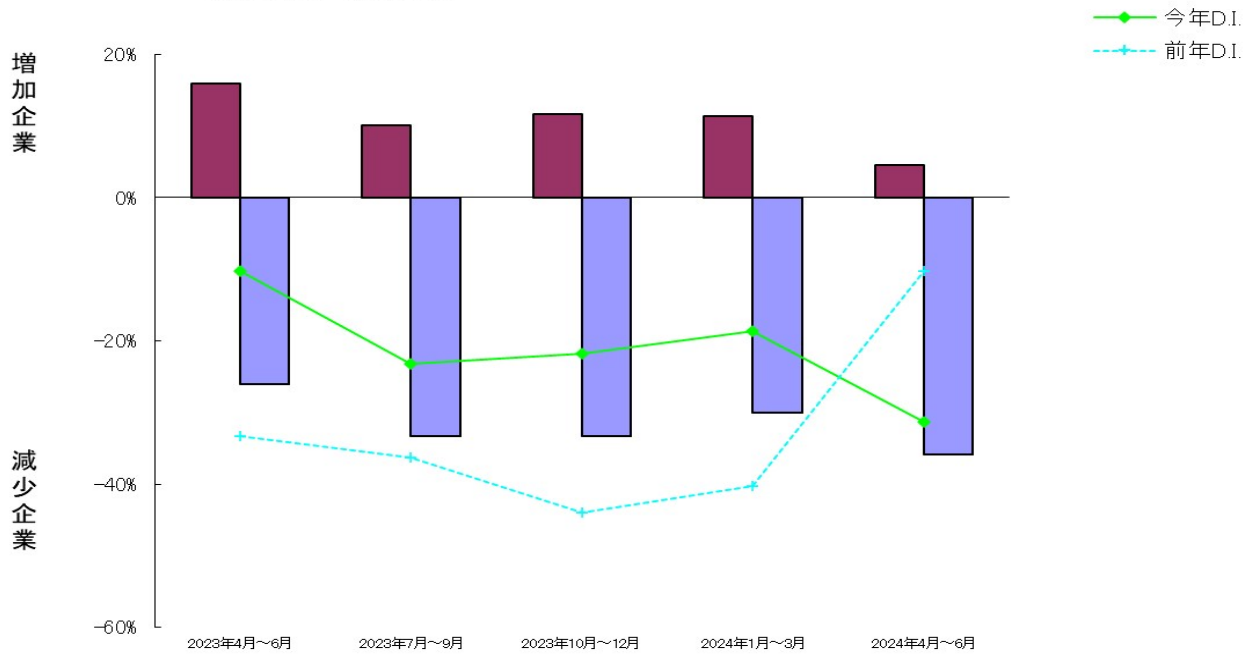
広島県 サービス業

売上額の状況 - 前年同期比 -



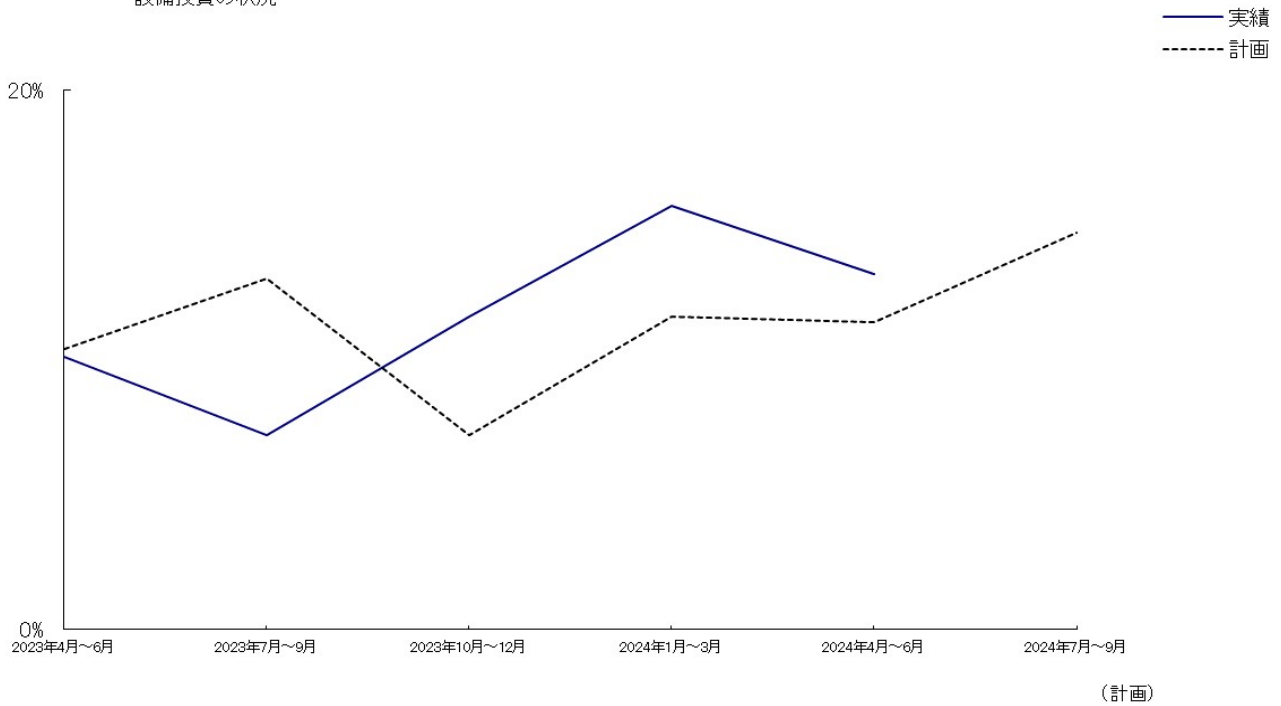
広島県 サービス業

採算の状況 - 前年同期比 -



### 4.設備投資の状況

広島県 サービス業  
設備投資の状況



### 5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 サービス業  
経営上の問題点の推移（一位の問題点・上位5つ）

